

# 校内研修計画

神金小学校

## 1 学校課題

小規模校で人数も少ないため、友人関係が固定化している面もあるが、休み時間や放課後には学年を越えた交流も多く、全校児童の一体感も見られる。反面、児童が相互に切磋琢磨する場面が減少し、上級生、下級生といった意識が曖昧になり、それぞれの立場における礼節に欠ける言動が見られる。

学習面では、個人差はあるが真面目な態度で学習に取り組み、与えられた課題に対しては前向きに取り組もうとする児童が多い。少人数の特色を生かし、学習指導では児童一人ひとりに目がよく行き届くことにより、児童の基礎学力向上が図られてきた。また、全校で統一した学習規律や家庭学習の習慣化をねらった取り組みと評価の工夫によって、学習意欲の向上も見られた。

今後は、さらに地域住民や保護者との連携を図りながら、児童に不足しがちな社会性を涵養する機会や多様な意見に触れる機会を確保したり、様々な体験を積ませたりする教育活動を充実していく必要があると考える。

## 2 研究主題

「自ら考え、進んで学習に取り組む児童の育成」  
～ICT環境を活用した学習活動の工夫を通して～

## 3 主題設定の理由

文部科学省委託「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」の小規模校を存続させるためのモデル地区として、先進的なICT環境を活用した21世紀型地域創世事業の調査研究も3年目をむかえた。

これまでの取り組みにより、児童も自分の考えを書いたり、自分の考えを持てるようになった。また、小規模校のデメリットとしてあげられた、同学年の児童数が少ないことから多様な思考に触れられる授業が難しいという点では、同期型CSCLを使った複数校との協働学習を仕組むことで、多くの児童の思考に触れることができ、それにより児童の思考を深め、広げることができた。しかし、発表をすることに対して苦手意識をもつ児童がまだ多く、進んで発表ができない傾向がある。そこで授業改善の一手段として、先進的ICT環境を活用し、必要な情報収集・判断・表現・処理などの活動を設定し、小規模校ならではの丁寧な指導と一人ひとりが学び・考え・行動できるよう、発表や活動の機会を保証することを通して、21世紀型能力<sup>(※)</sup>の向上を図っていききたい。地域資源を活用した主体的な学びを実践し、それを情報として地域に発信する「新たなふるさと学習」に引き続き取り組む過程で、児童の思考や表現する力を育成していくとができるのではないかと考える。

授業づくり・授業改善については、これまでの「見通しを立てたり学習を振り返ったりする活動」を重視し、学習過程の中に計画的に取り入れるように工夫していく。

工夫については、教育課程指導資料を基にし、指導案形式については『確かな学力プロジェクト』のティーチャーズノートを参考に活用していくことが考えられる。

また、授業づくりの土台となる「学級集団づくり」についても、Q-U検査の分析結果や昨年度までの学習規律への取組を活用し、全校で取り組んでいくようにしたい。

※21世紀型能力：仲間と協働して学習する力、自ら課題を設定し、解決策を考え結果を導きだし考察した上で、さらによりよき結果を求め改善する力、またそれらのことを発信したり、仲間の発表などから、自らの考えなどを改善する力と捉える。

## 4 研究の具体的内容と方法

### (1) 研究内容

- ・児童の実態把握(NRT検査、Q-U、アンケート)とK-13法分析とアタックシ

- ・ ICT を活用した集団づくり
- ・ 基礎的・基本的な学習内容の定着や学習意欲向上への取り組み
- ・ ICT 環境の効果的な学習方法を工夫した授業実践
- ・ 家庭学習や学習規律の確立への取組と「家庭教育/子育てQ & A」の活用した家庭の教育力向上への取組
- ・ ICT を活用した協働学習や「ふるさと学習」の実践
- ・ 地域や地域の他団体と連携した学習活動と他への情報発信
- ・ 学校間ネットワークの交流事業や合同授業の実践

(2) 方法

- ・ 互いに提案し合い教え合うミニ学習会を行う。
- ・ アンケート調査による児童と学年集団の実態を把握する。
- ・ 研究授業や一人一実践をする。
- ・ TV 会議システムを使った複数校との交流授業を行う。
- ・ 授業実践後、児童への事後アンケートや意識調査、職員同士の授業観察による意見交換を行い、検証を行う。

### 年間校内研修計画

研究主任 廣瀬きよ美

研究テーマ	回数	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	t・c要請	
ICT環境を活用した学習活動の工夫を通して	1	昨年度の成果と課題・edutab学習会	研究主任				
	2	研究主題・研究の方向性	研究主任				
	3	基本計画の確認 学習会「全国学力状況調査の傾向と実際演習」	研究主任				
	4	学習会「3校TV会議システムを使って新しいedutabの活用法」	研究主任				
	5	Q-U分析, 授業案検討 1	研究主任				
	6	授業案検討 1	研究主任				
	7	Q-U分析	研究主任				
	8	研究授業 1	授業提供 1			6月下旬~7月	○
	9	一人一実践	部会研究				
	10	神金シンポジウムについて①	研究主任				
	11	教育課程環流報告	各担当				
	12	一人一実践	部会研究				
	13	一人一実践	部会研究				
	14	個人研究	各個人				
	15	3校交流授業担当学年打ち合わせ	担当				
	16	神金シンポジウムについて②	授業提供 2				
	17	ふるさと学習交流会	担当学年	4年		10月下旬	
	18	3校交流授業について①	3校担当学年				
	19	3校交流授業について②	3校担当学年				
	20	3校交流授業	3校担当学年			11月11日(土)	
	21	神金シンポジウム	教務・研究主任	全		11月22日	
	22	Q-U分析, 個人研究のまとめ	各学年・個人				
	23	集団づくりのまとめ, 児童アンケート	研究主任				
	24	研究の成果とまとめ①	研究主任				
	25	全体のまとめ②来年度の方向性	研究主任				

